

学校において定める 目 標		<p>(1) 自己の在り方生き方を考えながら、現代社会の問題を自己の問題としてとらえ、課題を発見し、「問い」を立て、よりよく課題を解決していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(2) 共働的な活動を通じて、多面的な他者理解と自己の相対化を図り、「対話」の態度を養う。</p> <p>(3) 自己の思いや考えを、相手にわかりやすく発信する力を育てる</p>
内 容	探 究 課 題	・現代社会への問題意識と「問う」力の育成 (普通・国際コミュニケーションコース)
	育成を目指す 具 体 的 な 資 質 ・ 能 力	<p>(1) 探究のリテラシーや意義・価値への理解を活用した探究分野に対する興味・関心・理解の伸長および深化と、「問い」を立てる技能</p> <p>(2) 自分の探究する分野について、自ら「問い」を立てたうえで、情報収集やその整理、分析を通して、論理的な結論を導く力及びそれらを多様な形で表現し、相手にわかりやすく発信する力</p> <p>(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組むことを通して、自己の生き方についてよりよく考察する姿勢及び現代社会の問題を自己の視点で見出し「自分事」として捉える態度</p>
付与する単位数		<p>普通科普通 1単位</p> <p>普通科国際コミュニケーションコース 2単位</p>
授業時数の配当方法		<p>1単位を週ごとに割り振り実施する。</p> <p>国際コミュニケーションコースはさらに修学旅行及び事前・事後学習を1単位とする。</p>
学 習 活 動		<p>(1) 問立て学習 (「問う」力を育成するための実践を行う)</p> <p>(2) 平和学習 (平和について考察することを通して論理的思考力・判断力・表現力を高める)</p> <p>(3) 言語学習 (小論文やレポートを書くことを通じて論理的思考力・判断力・表現力を身につける)</p> <p>(4) 異文化理解 (海外修学旅行において異なる文化、価値観にふれ、異文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション力をさらに高め、真の国際感覚を身につける) (国際コミュニケーションコース)</p>
教 材 の 使 用 等		プリント教材、新聞、書籍など
指導方法・指導体制		<p>(1) イノベーションデザイン部において、年間指導計画および指導案を策定する。</p> <p>(2) 学年会において、年間指導計画および指導案を検討し実施する。</p>
評価規準・評価方法		ポートフォリオ、生徒の自己評価、授業観察、プレゼンテーションなどによって評価する。

単元	月	探究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習活動（場所）	各教科・特別活動等との関連・指導上の留意点等
世界を考え、表現する	4月	ガイダンス	・全体説明会	1	学年単位（講堂）	・1年間の目標と活動内容を確認する。
	5月	準備	・外部講師を招聘して、講演を行う。 ・問立て学習 ・自己の進路に関する現代の諸課題を書籍や新聞等で調査し、各班で研究するテーマを模索する。 ・海外修学旅行の事前学習（国際）	4	班単位（教室）	・自分の身近な興味関心から問を立てる方法を身につける。 ・自己の進路に関する諸問題について、どのような貢献ができるか考察させる。 ・修学旅行の行き先について調べる。（国際コース）
	6月	準備	・各班で研究するテーマを決定し、テーマについて調査研究する。	3	班単位（教室）	・グループ内共有を通じて、表現する力を養うとともに、相互に評価させることで他者理解を図る。
	7月	準備 実践	・研究テーマの深化	3	班単位（教室） 学年単位（講堂）	・夏季休業に行う研究テーマの調査計画を自分で考えさせる。
	8月	準備 実践	・研究テーマの調査 ・修学旅行関連事項調べ（国際）	1	夏課題	・夏課題として、修学旅行関連の事項の資料収集を課す。（国際）
	9月	準備 収集	・夏季休業中の調査などを基に社会問題を考え、ディベートなどを実施する。 ・海外修学旅に向けグループで調査研究を進める。（国際コース）	2	班単位（教室）	・レポートの共有とレポートテーマに基づく探究グループ作成 ・ディベートを通じて他者の理解を深めるとともに、探究グループで議論することで協調性を養う。
	10月	準備 収集 実践	・探究を進める ・平和学習	2	班単位（教室） 組単位（海外）	・リサーチに基づく論理的な意見の構築と説明・表現の技術を習得させる。
	11月	準備	・説得力のある発表の仕方について学び、練習する。 ・海外修学旅行で学んだことを整理する。（国際コース）	4	班単位（教室）	・グループごとに探究の成果としてスライドを作成する。
	12月	実践	・スライドをクラス内・クラス間で発表し、優秀作品を選出する。	3	班単位（教室）	・他の発表に対し、評価・分析する態度を養う。
	1月	準備 実践	・研究の深化 ・発表準備	4	班単位（教室）	・小論文の記述方法・評価方法に個人レポートについて説明・指導する。
2月	実践	・全体発表会 ・個人レポート作成	4	班単位（教室） 学年単位（講堂）	・外部講師を招聘し、課題研究発表会を実施する。	
3月	振り返り	・1年間の振り返りと自己評価	1	組単位（教室）	・1年を振り返り、自己評価をさせる。その評価をもとに、教員が評価する。	
備考	国際コミュニケーションコースについては、修学旅行及び事前・事後学習を1単位とする。					